



Musical For All

あらゆるひとに参加と鑑賞の機会を

Annual Report

2023

ゴールのないプロジェクトのはじまり



歌が得意。踊るのは苦手。
違う言語を使う。裏方のほうが好き。
演じてみたい。舞台鑑賞が好き。
車椅子を使う。音楽が好き。

好きなことも苦手なことも、
もっと自分らしく表現できたら
一体どんな舞台が生まれるだろう？

「できる」「できない」を
もっと気軽に分かち合えたら
世界はどんなふうになるだろう？

それは、
参加する人も、鑑賞する人も、
応援する人も、一つになってつくる舞台。

「ふつう」や「当たり前」から自由になって、
＜自分らしさ＞を分かち合う空間。

あらゆる違いが織りなす、もっと多様で、もっと多彩なミュージカル
「A COMMONBEAT」を届けたい。

Musical For All——あらゆるひとに参加と鑑賞の機会を。

私たちは、参加する人、鑑賞する人、
あらゆるひとのミュージカルへのアクセシビリティを高め
「個性が響きあう社会」の実現をさらに推し進めていきます。



01

鑑賞におけるアクセシビリティ整備

—より多くの方と感動を分かち合うために—

ACTIVITIES

1

字幕・音声ガイド制作



「Musical For All」の最初のステップとして、特に文化芸術へのアクセスが制限されている、視覚障がい者・聴覚障がい者の観劇をサポートするために、字幕と音声ガイドの制作に着手しました。

POINT

音声ガイドは、その場の舞台に合わせてリアルタイムで読み上げられたナレーションをイヤホンで聞くことができます。また、字幕タブレットには、セリフや歌詞の他にもBGMなどの情報も表示されます。



クラウドファンディング
ホームページ

ご協力くださったみなさま、本当にありがとうございました！

クラウドファンディングを実施



字幕と音声ガイドの制作のために、2023年5月から6月にクラウドファンディングを実施し、多くの方にご支援いただいたことで、57期東京公演から字幕と音声ガイドを導入することができました。

クラウドファンディング余剰金・MFA協賛寄付・MFA個人寄付については、58期関西公演の字幕・音声ガイド制作等のアクセシビリティ整備費用に当てさせていただきました。

ACTIVITIES

2

アクセシビリティチケットの導入

観劇に行く上で、「お金」も一つのバリアになりえます。介護者や同行者が必要な方にとっては、さらなる負担になることから、字幕・音声ガイド利用者・歩行困難者(車椅子ユーザー)など、「見ること・聞くこと・移動すること」が難しい方々とその介助者を対象にした、別の価格帯のアクセシビリティチケットを作りました。また、オンラインでのチケット購入操作が難しい方へ向けて、電話やメール等でチケットをお申し込みいただけるよう、UDcastサポートセンターでのチケット販売も行いました。

実際の利用

字幕

13

 台

音声ガイド

59

 台

57期東京・58期関西公演 合計



ACTIVITIES

3

サービス介助士/ウェルカムキャスト

公益財団法人 日本ケアフィット共育機構にご協力いただき、サービス介助士(※)のボランティアを募集し、ウェルカムキャスト(会場運営スタッフ)の一員として一緒に公演運営を行っていただきました。白杖をついているお客様、車椅子ユーザーの方、ほじょ犬をお連れのお客様など、より多様なお客様に安全にご入場いただくサポートを行いました。

※高齢者や障がいを持つ方など多様な方に対して適切な介助を提供する、公益財団法人日本ケアフィット共育機構が発行する民間資格

ACTIVITIES

4

手話通訳

場内アナウンスやチケットカウンターなどで手話通訳によるご案内を行いました。



公演アンケートより

お客様の声

視覚障害者のガイドヘルパーの仕事をしています。この仕事をしていて思うことは結局障害とは何なのかということと、障害者は社会によって障害者にさせられているのではということです。だからこそ、目が見えなかりょうが、耳が聞こえなかりょうが、なんら普通にミュージカルを見たくてミュージカルを見に来る人がいる環境こそがノーマルであるべきだと思いました。この舞台はそういった意味でニューノーマルになるのだと思います。

アクセシビリティチケットや優先入場枠があって助かりました。またスタッフが多く、介護資格のあるスタッフさんが複数いたので安心だった。

弱視になって、初めてミュージカルを見ました。副音声でのガイドがあり、状況がわかりやすかったです。出演者の皆様の熱気が会場を包み一体となり楽しいひと時をすごせました。

前説のときから、幕前に手話している方がいて、その方がいるだけで自分は知らなくても「耳の聞こえない方も来ているんだ」という感覚を持てるのが良かったです。

素敵な公演でした。前説のときから、幕前に手話している方がいて、その方がいるだけで自分は知らなくても「耳の聞こえない方も来ているんだ」という感覚を持てるのが良かったです。

妻が字幕を利用することで、初めて家族全員でミュージカルを楽しむことができました。ありがとうございました。

全ての人へ、楽しみを届けられることは大変よいことだと思えます。演者の中にも、全盲の方や車椅子の方を見ました。共に作り上げられるんだと、感動しました。回りの方の動きも、いたって当たり前な感じで違和感なく、素敵な公演でした。

Musical For ALLより

鑑賞におけるアクセシビリティ整備は始まったばかりです。公演のWEBサイトやチラシ、パンフレットや、他言語対応など、アクセシビリティの整備に万全はないので、これからも、一つ一つ、改善を重ねていきます。



募集中



マンスリーサポーター

まだまだ募集中です! ぜひ、子どもたちに夢をプレゼントするサポーターになってください!

違いは恐れるものなのか、それとも歓迎するものなのか。ミュージカル「A COMMON BEAT」を鑑賞することは、ダイバーシティ&インクルージョンを頭で考えるだけではなく、心で感じ取る機会になります。また、親や学校の先生のような「普通の大人」たちが、大舞台上でイキイキと自分を表現する姿は、子どもにとって「大人になること」へのイメージをポジティブに変えるパワーを持っています。

しかし、子どもたちは自分たちだけでこうした文化芸術鑑賞をすることができません。家族で観劇するとなれば、費用が高額になり敬遠されるのも事実です。そのため、公演に子どもを招待するためのマンスリーサポーター制度を作りました。



サポーター人数

102人



寄付金額
(8-12月)

50万円



招待実績

1290人

このうち125名分がマンスリーサポーターのみさんの寄付によってまかなわれました。ご支援ありがとうございます!

招待先

57期東京公演

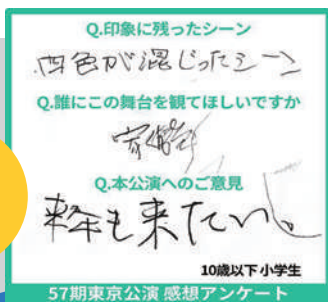
北区の青少年とその保護者

58期関西公演

吹田市・守口市・芦屋市の青少年とその保護者

※キャストの繋がりがある青少年団体も含む

家族みんなで観劇できる機会はないので、ありがたい機会でした。



今仕事をしている小学校で、人権の研究をしているのですが、難しい事ではないで、このミュージカル観ればいい。そう思いました。大人が真剣に全力で楽しむ姿を見せたいとも思いました。素晴らしい舞台を作ってくださいありがとうございました。

みんなの声

子どもたちや親御さん、学校の先生方からの言葉

一緒に行った小1の娘がダンスの度に今の凄かったね!と話していました。

!(お母さん)やりました



参加におけるアクセシビリティ



エンターテインメントを楽しむ方法は、「鑑賞」だけではありません

コモンビートのミュージカルの特徴は、公演を鑑賞して「やりたい!」と思ったら「キャストとして参加」できることです

アクセシビリティを整備することで、この「参加」と「鑑賞」の双方の間口を広げ、多様性の幅を広げる循環を起こし今までミュージカルにアクセスできなかった方々ともこのミュージカルの感動を分かち合いたいと考えています。そのため、57期東京100人100日ミュージカル®プログラムから、キャストの参加条件を見直し、これまで舞台に立つことができなかった方にも、このプログラムにご参加いただいています

Voice
01

松元晶子
(あっこ)

57期東京キャスト

参加者の声



歌って踊ることが大好き!ミュージカルの舞台に立ちたいと思って、これまでいろんな団体に問い合わせしてきましたが、視覚障害があることで安全が確保できないことから断られ続けてきました。そんな時に会ったのが、コモンビートです。コモンビートでは、一人になった時は誰かが自然と寄ってきてくれたり、大陸という所属場所があったり、こっそりパティという仕組みがあったり、さりげない優しさや安心感を感じる場面が多くて嬉しかったです。公演は、家族やたくさんの方々が観に来てくれました。長年の夢を叶えられて新たな友達もたくさんできて、この経験は一生の宝物です。



辻直子
(ちよっこ)

57期東京キャスト
59期東京キャスト兼スタッフ

Voice
02

私は、舞台やミュージカルが大好きですが、車椅子ユーザーとして色々な壁がありました。そんな時にMFAの「できる」「できない」をもっと気軽に分かち合えたら世界はどんなふうになるだろう?という考えに触れ「確かに!いいなあ。楽しそう!」と参加しました。MFAの対象は「すべての人」、その中の1人として私のような車椅子ユーザーもいれば視覚障がい

者もいる。健常者の中に私が入って、最初は私もみんなも手さぐりでした。そのため、私が「できること」「できないこと」身体的な可動域を伝えるところから始まりました。多くの人が感じる「普通」は、私にとって「普通じゃない。」対話や行動を通して少しずつ自己開示をすることで障害を認知してもらい、自然なかたちでその場に溶け込む事が出来たと実感しています。参加者同士の理解と協力があつたからこそ、不安なく安心してプログラムに集中することができました。支えを借りつつではありましたが、想いさえあれば、乗り越えられるというのは確か。参加そのものがそこでしか味わえない経験。MFAという取り組みを通して、もっと多様な方に参加してもらいたいです。

Musical For ALLより

プログラム運営や情報共有の方法等も工夫し、参加におけるアクセシビリティ整備を引き続きアップデートさせていきます。

04

決算報告

収入の部		
事業収入	クラウドファンディング	¥3,216,111
協賛金収入	企業協賛	¥200,000
寄付金収入	マンスリーサポーター寄付	¥496,788
	一般寄付	¥211,150
合計		¥4,124,049
支出の部		
外注費	公演アクセシビリティ整備費	¥2,400,860
招待費	青少年招待チケット費用	¥496,788
通信運搬費	青少年招待チラシ発送費	¥43,527
消耗品費	クラウドファンディング原価	¥431,759
印刷製本費	青少年招待チラシ印刷費	¥150,660
業務委託費	HP・ロゴ・画像制作費	¥373,506
支払手数料	CAMPFIRE・Syncable	¥423,425
広告宣伝費	PR TIMES	¥33,000
雑費	振込手数料	¥580
合計		¥4,354,105
収支		
		-¥230,056

※別途、事務局担当スタッフの人件費が間接費としてかかっています。

最後に

コモンビートは、表現活動によるダイバーシティ&インクルージョンの推進を通して、自分らしく・たくましい人を増やし、多様な価値観を認め合える社会を実現することで、地球とひとりひとりのより良い状態(ウェルビーイング)を目指しています。

団体設立から20年を迎え、メイン活動である「100人100日ミュージカル®プログラム」には、これまでに全国6,800人の市民が参加し、観客動員は230,000人を超えました。

しかし一方で、コロナ禍や戦禍や様々な社会状況により、人々の分断は加速しています。そんな時だからこそ、あらゆる違いをこえて人を繋ぐエンターテインメントの力を信じたい。ダイバーシティ&インクルージョンを掲げているからこそ、このミュージカルを、分け隔てなくあらゆる人と分かち合いたい。

そんな思いで2023年に立ち上げたのが、「Musical For All—あらゆるひとに参加と鑑賞の機会を」です。

新たな一歩を踏み出したこの一年。多様性の幅を広げていこうとする過程は、迷いと葛藤の連続でした。それは、仕事ではなく、それぞれが一個人として関わる市民活動だからこそ、大きいのかもしれません。

しかし、それは同時に、「あらゆる人が共にある」ためのアプローチを、専門家やプロだけに任せるのではなく、市民に開いていく挑戦でもあると、私たちは捉えています。

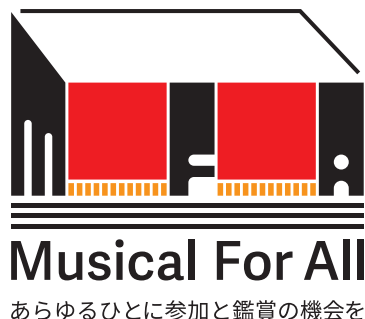
「Musical For All」の取り組みには、正解も、わかりやすいゴールも、ありません。様々な人や団体と共に模索し、MFAをひとつひとつ、アップデートしていきたいと思っています。

本書を手にとりいただいたあらゆる方に、その歩みを共にしていただければ幸いです。

ぜひ仲間になってください



青少年招待のマンスリーサポーターや
Musical For Allの取り組みへの
ご支援・ご寄付はこちらから!



協賛

ボーダレスハウス株式会社
一般財団法人ソーシャルアクション財団
一般社団法人Otonoha

協力

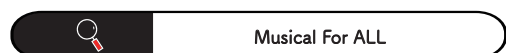
NPO法人日本ブラインドサッカー協会
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi
Palabra株式会社
actcoin
共感起業大全

Musical For All Annual Report 2023

2024年3月発行

発行元

特定非営利活動法人コモンビート
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2階
TEL 03-4500-1785
MAIL mfa@commonbeat.org
HP <https://www.mfa.commonbeat.org/>



Musical For All ホームページ